

SGH「アジア探求～文系」レポート2

4月24日の基礎講座 ～東南アジアの歴史と多様性(講義資料抜粋)～

I 東南アジアの歴史と多様性



タイ国章 インドネシアの国章と航空会社のマーク

敬虔な仏教国と世界最大のイスラーム国家なのに？

I 東南アジアの歴史と多様性

イスラーム化と植民地化の影響～15世紀以降

イスラーム教徒そのものは7世紀から到来
マラッカ王国の隆盛・・・明朝の保護とイスラームへの改宗

Q. 島嶼部でカリック圏・イスラーム圏に入ったのはどこ？
Q. 華僑・印僑の果たした役割は？

I 東南アジアの歴史と多様性

「海のシルクロード」と呼ばれる盛んな交易活動
植民地化に伴う労働力移動
→ 多文化・多民族・多宗教の状況形成させた

港市国家の先駆となった扶南(オケオ)
→ 中国・ローマとの関係を示す

シンガポールの多様性は象徴的

DEEP WATER 深水
Air Dalam
ஆழமான தண்ணீர்

II なぜ今 日本と東南アジアなのか

大東亜共栄圏と高度経済成長は同じ側面を持つ
→ 反日運動や日本製品不買運動の再燃

福田ドクトリン → 心と心のふれあう相互信頼を目指す

ASEAN諸国とインドシナ社会主義国との架け橋になる
→ ルックイーストや災害時の協力関係につながる

チャイナリスクの回避とイスラーム圏の経済への期待

キーワードは対等

I 東南アジアの歴史と多様性

インド化の影響～5世紀以降

ヒンドゥー教・大乘仏教・上座仏教によって王権を正当化
ラージャの誕生
サンスクリット語とインド系文字
林邑・扶南・シュリーヴィジャヤ・シャイレンドラ・マジャパヒト・アンコール など
例外は現在のフィリピンとベトナム地域

II なぜ今 日本と東南アジアなのか

イスラーム教徒の所得上昇	イスラーム金融への注目
インドネシア・マレーシアなどに2.5億人のイスラーム教徒	
イスラーム=ファッション	ハラール経済

I 東南アジアの歴史と多様性

上座仏教化の影響～11世紀以降

南下してきたビルマ人やタイ人が受容
スリランカからバガン朝・大陸部全域へ
アンコール朝の落日

大陸部は上座仏教圏か儒教圏に入った

III なぜ英語で？

Q. 日本の国語と公用語は何語ですか？
→ 国家を維持するための言語政策

Q. あなたの国では年間何日停電がありますか？
→ 急がば回らず飛び越えちゃう！